

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日			記入者	内線 2772
部 名	保健福祉部	課 名	地域福祉課	課長名	梅沢道雄
事務事業名	市民福祉の集い				
予算上の事務事業名	市民福祉の集い開催費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11130	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進				事業開始年度
施 策 名	第3施策 バリアフリーによる福祉のまちづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
福祉月間実施要綱、第23回市民福祉の集い実施要領					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
福祉月間事業の一環として、市民の福祉に対する理解と関心を深めるため「市民福祉の集い」を開催することを目的とする。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1. 開催日 平成16年9月25日(土)					
2. 場 所 市民会館ホール					
3. 主 催 相模原市、相模原市福祉のまちづくり推進協議会					
4. 内 容 第1部 表彰式(社会福祉功労者、福祉ポスター・作文入賞者)					
第2部 福祉のまちづくり講演会					
講師：千葉 紘子 演題：人がいて、ぬくもりがあって					
5. 参加者 800人					
6. 総事業費 213千円					
6 関連・類似事業や他市の状況					
本市は市まちづくり推進協議会との共催で市民福祉の集いを実施しているが、類似事業としては市社会福祉協議会で社会福祉大会を主催し表彰及び講演会を実施している。					
横浜市、川崎市、横須賀市では社会福祉協議会との共催により社会福祉大会と称して表彰及び講演会等を開催し経費の効率化を図っている。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	223	166	213	281	0
一般財源	223	166	213	281	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,401	3,234	3,275	3,270	3,248
事業コスト合計(a)	3,624	3,400	3,488	3,551	3,248
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民福祉の集い			対象名称(単位)	参加者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,624	3,400	3,488	3,551	3,248
対象数	900	850	800	900	1,000
単位あたり経費(円)	4,027	4,000	4,360	3,946	3,248
前年度比		0.99	1.09	0.90	0.82

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	従事者の作業率（％）		指標式と指標の説明	参加者数 / 業務従事者数 指標の説明：従事者1人の作業量により、効率性をみる。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	20.0	18.0	18.0		
目標	0.0	0.0	0.0	22.0	24.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加人数（人）		指標式と指標の説明	参加者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	900.0	850.0	800.0		
目標	900.0	950.0	1000.0	1100.0	1100.0
目標達成度	100.0	89.5	80.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		福祉月間事業の一環として、市民の福祉に対する意識向上を図るため、本事業の継続は必要である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
市社会福祉協議会との共催を検討し、事業費の削減に努める。 参加者に対してアンケートを実施し、福祉に対する理解度、満足度を的確に把握する必要がある。			市社会福祉協議会との共催を念頭において、参加者数の増加や、福祉に対するより一層の意識向上を図るために、開催日時、開催場所、内容の見直しを図る必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施方法を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			